

べと病・疫病の専用剤

殺菌剤

ベトファイター®

顆粒水和剤



ぶどう



きゅうり



トマト・ミニトマト



なす



たまねぎ



メロン



ばれいしょ



だいず



ベトファイター顆粒水和剤は、コルテバ・アグリサイエンス社の
シモキサニル、およびクミアイ化学工業(株)のベンチアバリカル
ブイソプロピルを有効成分として含有しています。

殺菌剤
ベトファイター[®]
顆粒水和剤

成分および物理化学的性状

有効成分：シモキサニル・・・24.0%
ベンチアバリカルブイソプロピル・・・10.0%

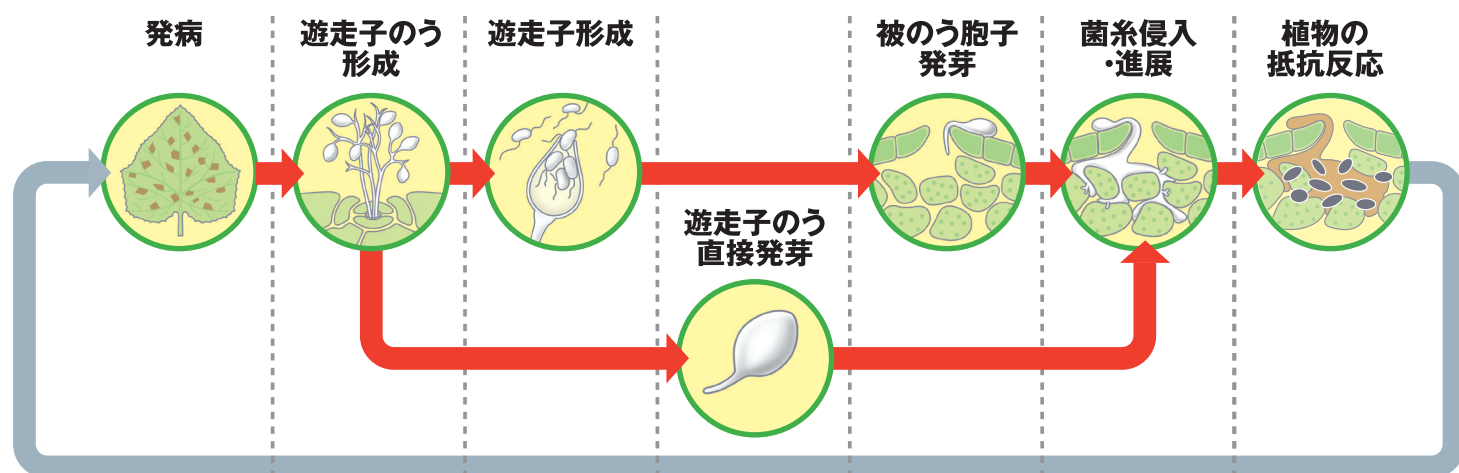
殺菌剤分類 27,40

製剤：34.0%顆粒水和剤
性状：褐色水和性細粒

特 長

- ① 予防効果と残効性** 持続的にべと病・疫病の発病を抑制できます。
- ② 初期感染抑制効果** すでにべと病・疫病菌が植物体内に侵入した直後の状態（病徴発現前）であっても、発病を抑制できます。
- ③ 浸達・移行性** 植物内外で安定した防除効果が期待できます。

べと・疫病の生活環と作用点（模式図はべと病菌）



作用点	シモキサニル	○	○	○	×	○	○ (誘導)
	ベンチアバリカルブイソプロピル	○	○	○	○	○	×
	ベトファイター	○	○	○	○	○	○ (誘導)

ベトファイターは、シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピルの作用を併せ持つ薬剤です。

安全性

1. 人畜への安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

急性経口（ラット）：LD₅₀ ♀ >300mg/kg ≤2000mg/kg

急性経皮（ラット）：LD₅₀ ♂♀ >2000mg/kg

皮膚刺激性：刺激性なし（ウサギ）

眼刺激性：弱い刺激性（ウサギ）

皮膚感作性：陰性

2. 環境への影響

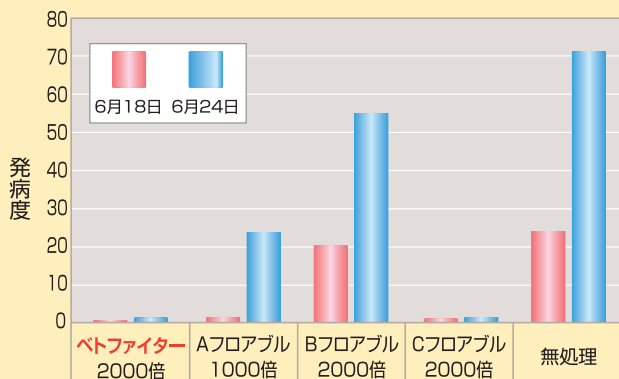
コイ：LC₅₀, 96時間 198mg/ℓ

ミジンコ：EC₅₀, 48時間 522mg/ℓ

藻類：EC₅₀, 72時間 30.7mg/ℓ

特性

予防・残効



キュウリべと病に対する予防・残効活性（圃場試験）

供試作物：キュウリ（品種、半白節成）

試験規模：1区6株、3反復

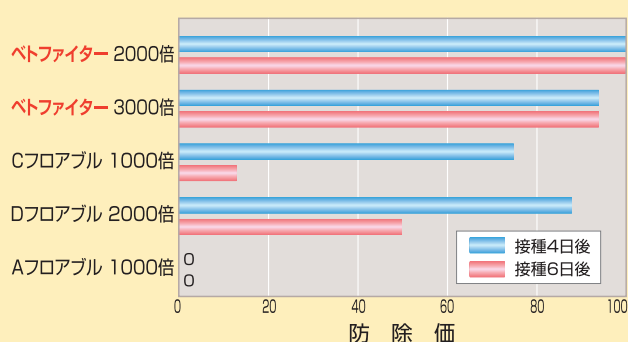
接種：6/7、ストロビルリン系剤耐性キュウリべと病菌を
下位3葉に噴霧接種

散布：6/3、6/10 333ℓ/10a

調査：最終散布8日後、最終散布14日後

（2004年 日本曹達（株）榛原フィールドリサーチセンター）

初期感染抑制



キュウリべと病に対する初期感染抑制活性（ポット試験）

1.5葉期のポット植えキュウリを用い、第1葉裏面にキュウリべと病菌を接種して暗黒下湿室に静置し、接種1日後に供試薬剤を散布処理した。接種4日後および6日後に発病状況を調査し、防除価を求めた。

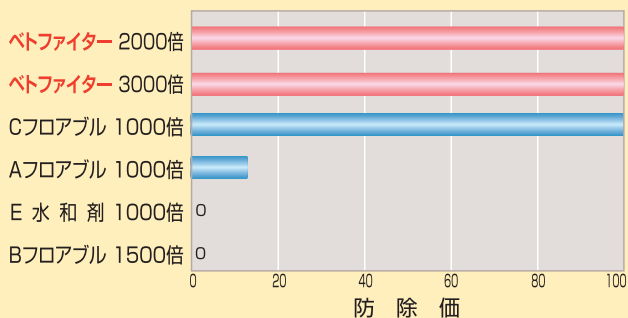
（日本曹達（株）小田原研究所）



ベトファイター顆粒水和剤の
初期感染抑制活性

無処理 Aフロアブル 1000倍 ベトファイター 3000倍

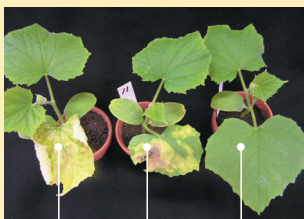
浸達性



キュウリべと病に対する浸達性（ポット試験）

1.5葉期のポット植えキュウリを用い、第1葉の表面のみに供試薬剤を散布処理した。散布1日後に葉裏面にキュウリべと病菌（ストロビルリン系剤耐性菌）を接種し、暗黒下湿室に静置した。接種7日後に発病状況を調査し、防除価を求めた。

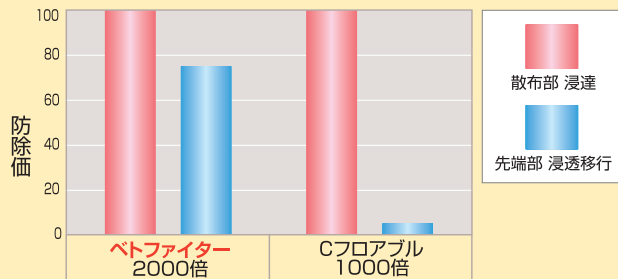
（日本曹達（株）小田原研究所）



ベトファイター顆粒水和剤の
浸達性

無処理 Aフロアブル 1000倍 ベトファイター 3000倍

葉内移行性



キュウリべと病に対する葉内移行性（ポット試験）

1.5葉期キュウリの第1葉以下に示す方法で散布、接種し、防除価を求めた。



（日本曹達（株）小田原研究所）

殺菌剤 ベトファイター® 顆粒水和剤

試験成績

■ ネギべと病に対する孢子再形成阻害試験

孢子形成されたねぎ片に散布(どちらも展着剤を加用)



ベトファイター顆粒水和剤2000倍



無処理(実体顕微鏡)

孢子を旺盛に形成した無処理区の葉を流水で洗った後、2等分に切断し、処理区にベトファイター顆粒水和剤2000倍液をハンドスプレーで散布、無処理区に水を散布(どちらもミックスパワー3000倍を加用)。

15℃の恒温器でゆっくり乾燥させ、濡れ新聞紙を敷いたタッパーに載せ、更にポリエチレン気泡緩衝材を敷き、その上に罹病葉を置き両端を濡れティッシュで包む。15℃暗条件に置き、翌日孢子の再形成を実体顕微鏡で調査。

(2020年 日本曹達(株)小田原研究所)

■ キュウリべと病への効果



作物 キュウリ(南極1号)
規模 1区20m² 9株/区 2反復
散布 6/28、7/6、7/13の計3回、小型動力噴霧器で300ℓ/10a散布した。
調査 7/20に1区9株の各20葉について発病程度別に調査し、発病度を求めた。
(2005年 岩手県農業研究センター)

■ タマネギべと病への効果



作物 タマネギ(ターボ)
規模 1区1.75m² 80株/区 3反復
散布 5/15、5/24、6/1の計3回、背負式動力噴霧器で200ℓ/10a散布した。
調査 6/8に1区80株について発病程度別に調査し、発病度を求めた。
(2007年 東京都農林総合研究センター)

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ボルドー液等のアルカリ性農薬との混用はさけてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調整してください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 薬液や薬液タンクの洗浄廃液は放置せず、速やかに安全な場所に処理してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2024年9月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容
SDSはこちら